

平成30年度 第1回米沢市文化財保護審議会議事録

1. 開催日時 平成30年 7月18日(水) 13:30~16:00
2. 会場 置賜総合文化センター(3階 第3会議室)
普門院庫裏保存修理工事現場(視察)
3. 出席者 文化財保護審議会委員(6名)
白石信也会長、小幡知之委員、東海林静男委員、佐藤庄一委員、石栗正人委員、鳥海隼夫委員
事務局(8名)
渡部洋己教育管理部長、佐藤恵一文化課長、大野良子文化課長補佐兼文化振興主査、赤木徹文化課副主幹兼文化財主査、石川恭子主査、佐藤公保主任、佐藤智幸主任、宮田直樹主任
4. 開会 13:30 【司会:赤木副主幹】
「行政情報提供の推進に関わる指針」に基づき、議事録等の作成と本市ホームページへの掲載について委員に説明し全員一致で了承。
5. 教育委員会あいさつ 【渡部教育管理部長】
6. 委員・事務局紹介
紹介後、渡部部長、石川主査は別公務のため退席。
7. 協議 【議長:白石会長】
 - (1) 報告 平成30年度文化財関連事業について
 - 平成30年度一般文化財事業
事務局から配布資料に沿って説明後に質疑。
 - 【委員】市民協働事業と企業メセナで実施する具体的な事業は何か。
 - 【事務局】市民協働事業では、ささの里づくり推進協議会と八幡塚古墳保存会が採択を受けており、これに文化課が協力する。ささの里づくり推進協議会では、笹野観音堂と笹野西国三十三観音のパンフレットを作成する。
 - 【事務局】八幡塚古墳保存会では、パンフレットの作成と古墳をテーマにした講演会の開催を予定している。講演会は11月3日(土)に伝国の杜大会議室で行う。講師は、佐藤庄一氏、東北学院大学の先生などの予定。
 - 【事務局】企業メセナは、西明寺の市指定文化財木造十一面観音坐像の保存修理のため朝日新聞財団の助成金に応募中である。

【委員】 県指定文化財「木造伝大日如来坐像」保存修理事業について県からの補助はあるのか。また、玉眼のなくなっているものも修理するのか。

【事務局】 事業費 200 万円のうちで県の補助は 50%の 100 万円であり、玉眼も修理する。

○平成 30 年度埋蔵文化財事業

事務局から配布資料に沿って説明後に質疑。

【委員】 平成 28 年度の審議会で答申し指定された八幡塚古墳が、地元保存会の努力で講演会などの活用事業が行われることは望ましい姿である。

(2) その他

○今後の指定文化財について

保存処理が終わった大南遺跡出土木製品の概要と、今後の市指定文化財の取り扱いなどについて説明後に質疑。

【委員】 漆器の文様などから特定できるものなどはないか。

【事務局】 家紋など出自や人物を特定できるものはない。

【委員】 木馬の用途は。

【事務局】 古代に行われた災いをはらう祭祀に使われた可能性を考えていたが、つくりが丁寧でそのような用途ではない。玩具か。

【委員】 材質は。

【事務局】 仏像はヤナギ属、馬はアスナロである。

○文化財保護法の改正について

文化財保護法改正の概要について説明。

○第 2 回の審議会について

平成 31 年 3 月初旬を目途に開催予定である旨を説明。

8. 閉 会 14 : 25 【赤木副主幹】

閉会后、公用車で普門院へ移動

9. 文化財視察 14 : 50

○普門院庫裏保存修理工事現場

事務局と施工業者が工事の概要と進捗状況について説明し、庫裏の屋根工事等の状況を視察する。

視察終了後、公用車で置賜総合文化センターへ移動

10. 解 散 16 : 00

以 上